

市民アンケートの概要

■ 目的

飯田市民を対象に（特に高齢者に着目）、公共交通の利用実態把握や公共交通の維持確保や利用環境向上に向けた課題を抽出するため、アンケート調査を実施した。

■ 調査方法

無作為に抽出した1,000世帯を対象にアンケート調査票を配布した。加えて、公共交通利用者の意見を把握するため、バス停や乗合タクシーにてアンケートを100部配布した。

■ 質問項目

問1. 郵便番号、世帯種別、世帯での自家用車保有台数	問9. 鉄道を利用する際の問題点・利用しない理由
問2. 性別	問10. 路線バスを利用する際の問題点・利用しない理由
問3. 年代	問11. 乗合タクシーを利用する際の問題点・利用しない理由
問4. 職業	問12. 自家用車を使用した移動について不安や不満に感じる事
問5. 運転免許の有無	問13. 交通系ICカードの所有状況
問6. 頻度が高い外出目的2つについて、頻度・行先・交通手段・移動時間帯	問14. 交通状況（リアルタイム位置情報等）をスマートフォンで調べるか
問7. 外出時の移動手段選択時、重視すること（優先度が高い順に3つ）	問15. 地域住民が公共交通の運転手を担う場合、利用するか
問8. 公共交通（鉄道、バス、乗合タクシー、タクシー）の利用頻度	問16. お住まいの地域の公共交通維持について、あなたの考え

■ 回収状況

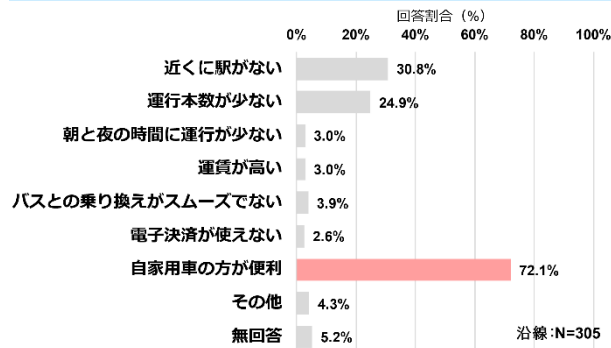
- ・回収人数：817人（郵送775人 + バス停配布42人） **60代以上の回収人数は419人。**
- ・回収率：世帯に配布：34%（340世帯/1,000世帯）
バス停にて配布：42%（42部/100部）

高齢者（60代以上）に注目した市民アンケートの結果

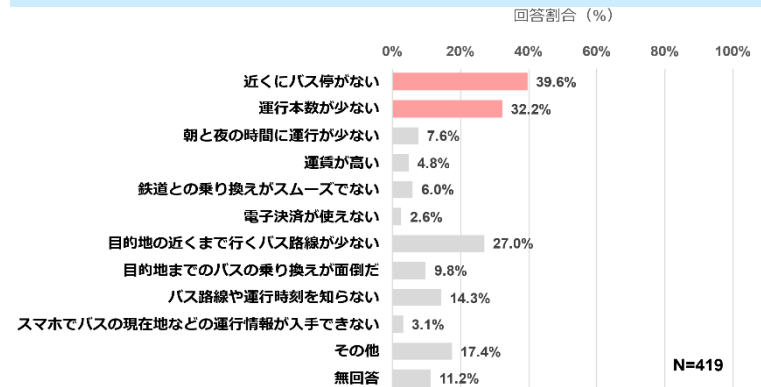
■ 各交通モードにおける課題（鉄道のみ沿線地域で集計）

- ・鉄道の問題点として、“自家用車の方が便利”という回答が最も多い
- ・バスの問題点として、“近くにバス停がない”の回答が最も多く、次いで“運行本数が少ない”である
- ・乗合タクシーの問題点として、“時間や目的地が自分に合わない”という回答が最も多い
- ・自家用車を運転する60代以上の方は、“将来運転できなくなったとき不安”という回答が最も多い

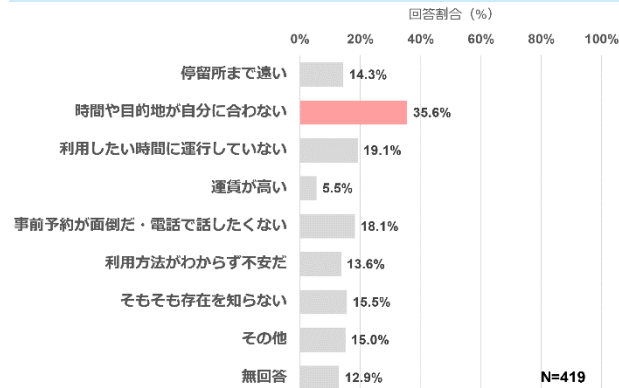
<鉄道>



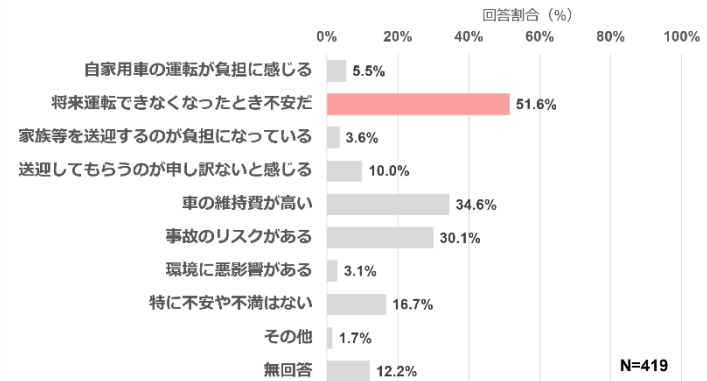
<バス>



<乗合タクシー>



<自家用車>

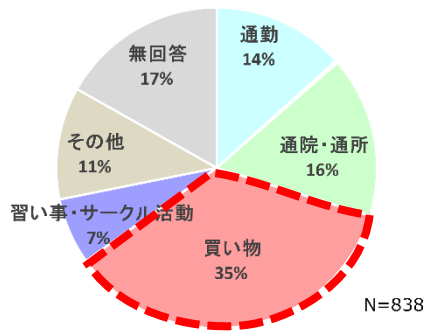


高齢者（60代以上）に注目した市民アンケートの結果

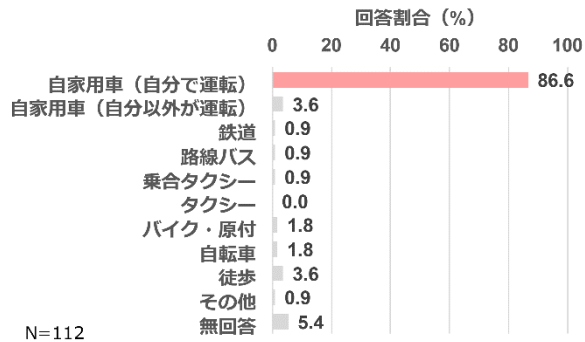
■ 外出目的別移動手段

- ・外出目的として、“**買い物**”の割合が最も大きく、次いで通院・通所が大きい
- ・全ての外出目的において、“**自家用車（自分で運転）**”の割合が最も大きい
- ・通院・通所の外出目的は、他の目的と比べて**公共交通を利用する**割合が大きい

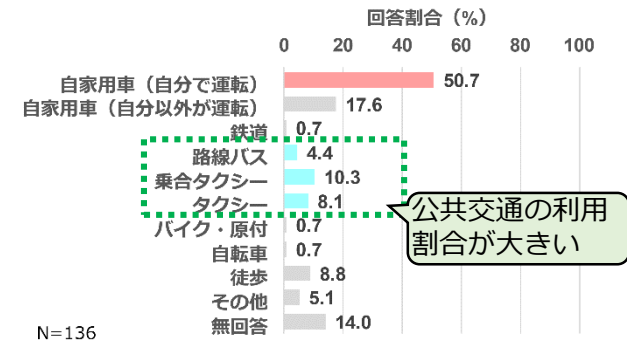
【外出目的割合】



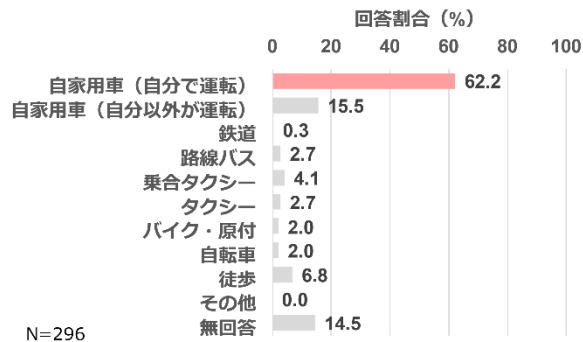
＜通勤＞



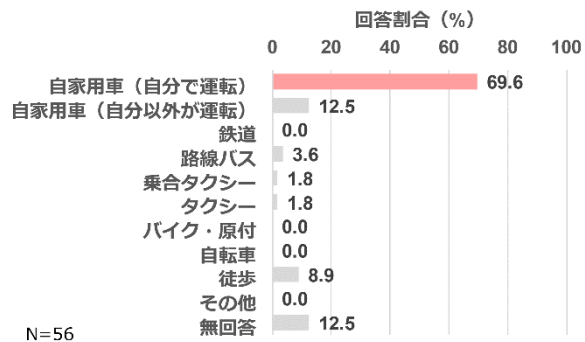
＜通院・通所＞



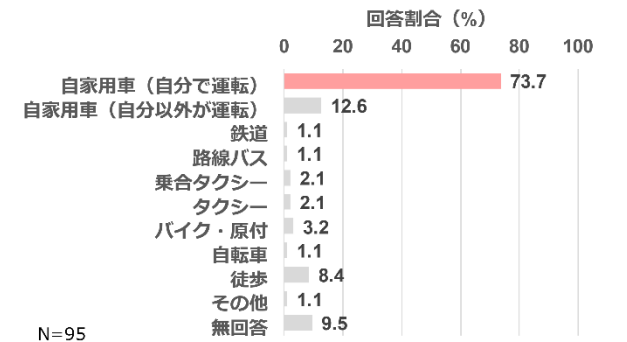
＜買い物＞



＜習い事・サークル活動＞



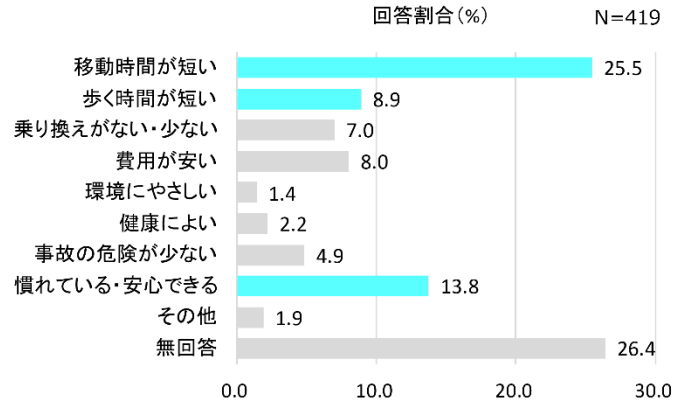
＜その他＞



高齢者（60代以上）に注目した市民アンケートの結果

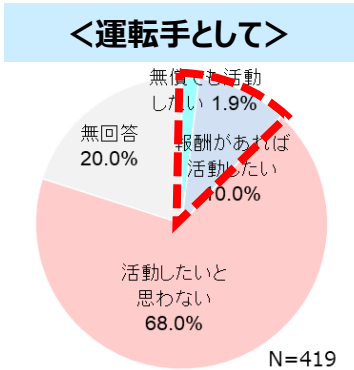
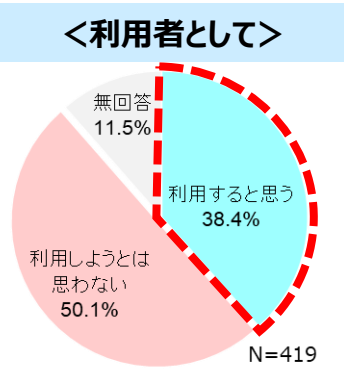
■ 移動手段選択時の優先度

- ・“移動時間が短い”、“慣れている・安心できる”を重視する傾向
- ・上記に次いで“歩く時間の短さ”を重視する割合が大きい



■ 住民が運転する新しい地域交通の利用意向

- ・約38%の回答者が新しい地域交通サービスを“利用したい”と回答
- ・約12%の回答者が“運転手として活動したい”と回答



■ 公共交通の利用有無

- ・全てにおいて60%以上の回答者が利用していない
- ・公共交通の中ではタクシーを利用する割合が最も大きい

